

高

探究チャンネル

6/12(木)に、探究チャンネルを実施しました。このプログラムは、複数の講演会やフィールドワークを生徒が興味・関心に応じて選択し受講するもので、高1・2全生徒が対象です。目的は探究の問い立てのヒントの獲得、そしてその根源となる自分の人生観を拓けることです。当日は、国内外で活躍する一流の識者18名が長崎東に集結し、レクチャーや質疑応答、ディスカッションを通して、生徒たちは自身の持つ可能性が大いに拓がりました。



野球部・吹奏楽部より

7月に大きな大会を控えている野球部の主将と吹奏楽部の部長に
大会への抱負を聞いてみました。

全国高校野球選手権大会長崎大会

会場：佐世保総合グラウンド

日時：7月9日(水) 12:30~

対戦相手：西海学園高校



「野球部は、7月7日から始まる全国高校野球選手権長崎大会に出場します。初戦は西海学園高校と対戦します。3年生にとって最後の戦いとなるので、最後まで全力で野球をしてきます。熱い応援よ

第70回長崎県吹奏楽コンクール 高等学校の部

会場：アルカスSASEBO

日時：7月20日(日) 演奏15:45~



「今まで支えてくださった全ての方への感謝を胸に、私達らしさをいかした演奏をします。応援よろしくお願いします。」

吹奏楽部部長 田川百恵

今年度の高総体・中総体等の結果の一部をご報告します（上位入賞のみ載せています）。

高総体

●陸上部

400m女子

5位 3年 荒木佐和

400m男子

4位 3年 町田優一郎

200m女子

4位 3年 荒木佐和

●男子バスケットボール部

団体 4位

●剣道部

女子団体 準優勝

●女子ソフトテニス部

団体 3位

●射撃部

団体 男子総合 優勝

女子総合 準優勝

BP（ビームピストル）

男子団体 3位

女子団体 3位

BR（ビームライフル）

男子団体 2位

女子団体 2位

AR（エアライフル）

男子団体 優勝

女子団体 2位

個人の部

BP（ビームピストル）男子

準優勝 2年 福田隼大

AR（エアライフル）男子

優勝 3年 執行昉生

準優勝 3年 古山晃一

AR（エアライフル）女子

3位 3年 釜我鈴乃

BR（ビームライフル）男子

優勝 3年 林田 渉

BR（ビームライフル）女子

3位 2年 一ノ瀬愛理

●水泳部

男子100m背泳ぎ

2位 2年 井上泰我

男子200m背泳ぎ

2位 2年 井上泰我

女子200mバタフライ

3位 1年 島村香春

●柔道部

男子個人

優勝 3年 松嶋優和

3位 3年 金子稜青

女子個人

2位 3年 中村志歩

●男子テニス部

団体 準優勝

個人ダブルス

準優勝 3年 今里泰地

2年 森 颯也

個人シングルス

3位 3年 大坪勇翔

3位 3年 今里泰地

●女子テニス部

団体 優勝

個人ダブルス

優勝 3年 矢田 陽

2年 竹内碧彩

3位 2年 江口星花

1年 児島加純

個人シングルス

3位 3年 矢田 陽

3位 2年 竹内碧彩

●女子卓球部

個人ダブルス

3位 2年 坂本莉菜

2年 新宮 藍

●空手部

個人形

3位同位 2年 尾上獅門

中総体

●柔道競技

60kg級 優勝（県大会出場）

2年 和田 蒼汰

55kg級 準優勝

1年 倉橋 六也

●バドミントン競技

男子団体 3位（県大会出場）

男子ダブルス

3位（県大会出場）

3年 小川煌陽

3年 古井陽晟

●硬式テニス競技

男子団体 準優勝（県大会出場）

男子シングルス

3位（県大会出場）

3年 國知出一期

男子ダブルス

準優勝（県大会出場）

3年 生駒龍正

3年 田代直太郎

その他の大会結果については、次号でお知らせします。

6月6日（金）に、鎮西学院大学より濱野正義特任教授を講師にお迎えし、高校3年生を対象とした進路講演会を実施しました。「自分で選ぶ未来のために」という演題で、勉強を道具として正しく使い、自分を磨いて世の中に貢献できる人材へと成長して欲しいというメッセージをいただきました。受験勉強を成功させるための具体的なアドバイスとして、「家に帰って最初に座る場所で自分の人生が決まる！」という言葉が印象的でした。生徒たちは、講演の中で話し合ったり発表したり、時には自己暗示のために音読したりしながら、受験生としてのやる気のスイッチを入れていました。翌月曜日から高校3年生の希望者を対象とした放課後講座もスタートしています。高校3学年で丸となり、進路実現に向けて頑張っていきます。



今年は5月上旬～5月下旬にかけて、中学・高校に11名の教育実習生を迎えました。3週間の実習を終えた実習生からのメッセージを紹介します。

船山 剛士先生（高・生物）

教育実習は3週間と短い期間でしたが、先生方や生徒の皆さんから、多くの学びを得ることができ、大変貴重な経験となりました。この経験を忘れず、今後も一層努力してまいります。大変お世話になりました。

中島 聖哉先生（高・化学）

3週間、大変お世話になりました。皆様のおかげで、学びの多い充実した教育実習となりました。心より感謝申し上げます。皆様の今後のご活躍を、心からお祈りしております。本当にありがとうございました。

小田原 真凜先生（中・理科）

先生方、生徒の皆さん、3週間大変お世話になりました。生徒の皆さんの真剣な学ぶ姿勢と先生方の生徒の皆さんへの愛情を身をもって感じました。これからも応援しています。本当にありがとうございました。

本田 鈴佳先生（中・英語）

3週間という短い間でしたがお世話になりました。生徒の皆さんや先生方からは多くのことを学ばせていただきました。これからもひがしでの出会いや経験を大切に頑張ってください。本当にありがとうございました。

中橋 希彩先生（高・生物）

長崎東の先生方、生徒の皆さん、3週間お世話になりました。限られた時間でしたが、皆さんから多くのことを学ばせていただきました。ひがしの温かさに支えられた3週間でした。本当にありがとうございました。

「凡事徹底」やるべきことは手を抜かずに

主な行事 7月

日 曜	主な行事
2 水	「しま」生活体験修学旅行 (中2, ~4日) 授業参観・学年PTA(中1)
3 木	カウンセラー講演会(中1) 高校生国際会議 (高2, 3・希望者)
4 金	野球部壮行式・生徒会役員任命式 (高)
5 土	進研模試(高)
7 月	第107回全国高校野球選手権長 崎県大会
8 火	悩み調査 長崎大学外国人留学生による出張 講義(高・希望者)
9 水	生徒大会(中) ひがしチャレンジデー(高)
10 木	校内大会(高, ~11日) 国際科集会(高2, 3・対象者)
15 火	専門委員会(中) 長崎県立大学看護学科出前講義 (高1希望者)
16 水	薬物乱用防止教室(中3, 高)
17 木	三者面談 (中~25日, 高~29日)
18 金	終業式・壮行式・受納式
19 土	県吹奏楽コンクール(~20日) 大学別模試(高3, ~20日)
22 火	授業日① カウンセラー講演会(高1)
23 水	授業日② 長崎東安全の日 ミニオープンスクール (中, ~25日)
24 木	授業日③
25 金	授業日④
26 土	県中総体(~28日)
28 月	学校開放(高1, ~8/1) 夏季学習会(高2, ~29日) 選択制講座(高3, ~30日)
30 火	選択制講座(高2, ~31日)
31 水	三菱MIRAI万博(高2, 3対象者) 全統マーク(高3)

校長より

校 風

校長 田川 耕太郎

私はこの4月に着任して以来、「ひがしの校風」とは何かについて、折に触れて考えています。

ご存じの通り、本校にはいわゆる「校訓」がありません。その代わりに、山本健吉氏の「ともによき世を創る」という言葉が、生徒の精神的な支柱となっています。仲間と共により良い社会を築いていくというこの理念は、長崎東の使命を象徴する気高い精神であり、学校全体をまとめる一つの軸となっています。しかし、これが「校風」かと問われると、少し違うようにも感じます。

今年度のオープンスクールでは、74名もの生徒が実行委員に自発的に応募してくれました(ありがとう)。その生徒たちに「ひがしの魅力をどう伝えたいか」というアンケートを行ったところ、「生徒主体でさまざまなことに挑戦している」「行事が充実していて自分の可能性を広げられる」といった声が多く寄せられました。特に「主体性」「挑戦」「行事」といったキーワードが目立ちました。

中学校も高校も、行事の一つひとつに生徒の自由なアイデアが反映されており、こうした姿勢にこそ「ひがし」の校風が表れているように思います。では、その校風は誰がつくるのでしょうか。中心となるのは、やはり生徒の皆さんです。しかし、生徒だけでは十分ではありません。先生方、保護者、地域の方々の支えがあってこそ、しっかりとした校風が育まれるのだと思います。

昨年度から始まった「ひがしチャレンジデー」は、先生方が熟慮を重ねて全国に先駆けて導入した取り組みです。このように本校は、先進的な教育に果敢に挑戦し、長崎県の教育をリードする存在であり続けています。授業や部活動に加え、フィールドワークや探究活動など校外での学びの機会も豊富で、多くの生徒が自らの可能性を広げています。

こうした姿勢を振り返ると、「新しいことに挑戦する」という精神もまた、「ひがし」の校風の一端を担っているのではないのでしょうか。校訓がないからこそ、過去や前例に縛られることなく、革新と挑戦を続ける——それが長崎東高校の姿であり、私が感じる「ひがしの校風」です。